

教 育 課 程 等 の 概 要

(国際文化研究科 日本文化専攻 博士後期課程)

科目区分	科目群	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
特殊講義科	学日 研本 究語	日本語学研究特講	1・2・3前		4		○			1					
	学日 研本 究文	日本古代文学研究特講	1・2・3後		4		○			1					
		日本近現代文学研究特講	1・2・3前		4		○			1					
	日 研本 究歴 史	日本古代史研究特講	1・2・3後		4		○			1					
		日本中世史研究特講	1・2・3後		4		○			1					
		日本近世近代史研究特講	1・2・3前		4		○			1					
	域日 研本 究地	日本地域研究特講	1・2・3前		4		○			1					
小計 (7 科目)		—			28		—			7					
研 究 指 導 目 指 導	日本文化特別研究	1・2・3通	12				○		7						
小計 (1 科目)		—	12				—		7						
合計 (8 科目)		—	12	28			—		7						
学位又は称号		博士 (日本文化)		学位又は学科の分野			文学関係								
教 育 課 程 の 編 成 方 針															
教育課程は特殊講義科目 (選択) と研究指導科目 (必修) とから編成されている。後期課程では複数指導制をとることで、学生にきめ細かな指導を行い、高い研究能力の育成を図る。特殊講義4科目群のうちから3年間のうちに3科目群以上を履修させ、博士学位論文の基盤となる各学問分野の方法論と総合的な視野を獲得する。その間、研究指導科目「日本文化特別研究」により、学生の持つ個別の課題に即し、3年次までの学位論文作成計画を立て、雑誌論文発表や学会報告等の指導を行うなどして、課程内での学位取得を目指す。															
卒 業 要 件 及 び 履 修 方 法										授 業 期 間 等					
特殊講義4科目群のなかから12単位、研究指導科目としての日本文化特別研究を原則として3年間で12単位の合計24単位を取得し、博士論文の審査および所定の試験に合格すること。										1 学年の学期区分		2 期			
										1 学期の授業期間		1 5 週			
										1 時限の授業時間		9 0 分			